

助動詞で話す・書く (基礎)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 毎日のきまりごとを言い、身のまわりのことを推理して伝えられる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

I have to walk my dog before breakfast every morning.

毎朝、朝ごはんの前に犬を散歩させないといけない。

Ken must like soccer. He talks about it every day.

ケンがサッカーが好きにちがいない。毎日その話をしている。

型で書く 型で書く— _____ だけ自分のことばに 思考・判断・表現

ことば例 ((1): walk my dog / take out the trash / practice kendo (2): Ken / My friend + soccer / manga / curry (3): drink some water / go to bed early / tell your teacher)。気づき: (2)の must は「しなければならない」ではありません—目の前のことから推理しているときの must です。

(1) I have to _____ every day. 毎日しないといけないこと

(2) _____ must like _____. クラスの人の「好き」を推理

(3) You should _____ if you feel tired. つかれた友だちへの助言

ペアで話す ペアで話す—持ち物あてクイズ

出題の型: I have something in my bag. It is _____. ヒントは1文ずつ、3文まで。当てる人は It must be ____! か It can't be _____. の形で答える。ヒントは全部英語で一言えないものは日本語で言ってから、いっしょに英語をさがすこと。

(1) I have something in my bag. It is small and it makes a sound.

出題する人—ヒントを1文ずつ

(2) It must be your phone! / It can't be your phone. You have it in your hand.

当てる人—must か can't で答える

あいづち・返しの型: That's right! Try again. One more hint, please. I have no idea.

助動詞で話す・書く (基礎) | 自分の番

年 組 番 名前 _____

書く 3文つなげて「わたしの毎日と、まわりの人」 思考・判断・表現

上の「型で書く」の3文を、順番にそのまま書きうつしてつなげる—それだけで短い文章になる。最後に、ペアの相手について聞いたことを1文で: He / She has to _____ every day.

評価 先生はここを見ます (加点式)

型のとおり3文書けている (助動詞のうしろが原形になっている)	+5点
_____に自分のことはが入っている	+3点
ペアの相手の紹介が1文ある	+2点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直して扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ